

2016年3月期 第1四半期 決算補足資料

2015年7月30日

NECキャピタルソリューション株式会社

\Orchestrating a brighter world

未来に向かい、人が生きる、豊かに生きるために欠かせないもの。
それは「安全」「安心」「効率」「公平」という価値が実現された社会です。

NECは、ネットワーク技術とコンピューティング技術をあわせ持つ
類のないインテグレーターとしてリーダーシップを発揮し、
卓越した技術とさまざまな知見やアイデアを融合することで、
世界の国々や地域の人々と協奏しながら、
明るく希望に満ちた暮らしと社会を実現し、未来につなげていきます。

目次

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

- 1) 連結決算ハイライト
- 2) 事業環境
- 3) 業績概要（連結）
- 4) 事業別収益（連結）
- 5) 事業別契約実行高の状況
- 6) 賃貸・割賦事業の営業状況
- 7) ファイナンス事業の営業状況
- 8) リサ事業の営業状況（営業利益）
- 9) 営業資産残高の状況（連結）
- 10) 資金調達の状況（連結）
- 11) 与信関連費用（連結）

2. 2016年3月期計画

- 1) 連結業績予想

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

1) 連結決算ハイライト

【事業環境】

- ・リース取扱高は、前年4月に実施された消費増税の影響がなくなり前年同期比増加
- ・資金調達環境は引き続き良好な状況を維持
- ・倒産状況については、負債総額・件数共に前年同期比減少

【営業トップライン】

- ・賃貸・割賦事業における契約実行高は、前年同期比増加となり、業界平均を上回る進捗
- ・成約高についても前年同期比増加
- ・一方、ファイナンス事業については前年同期比減少

＜賃貸・割賦事業＞

契約実行高： 36.9%増 成約高： 44.6%増

＜ファイナンス事業＞

契約実行高： 17.2%減 成約高： 17.2%減

【経営成績】

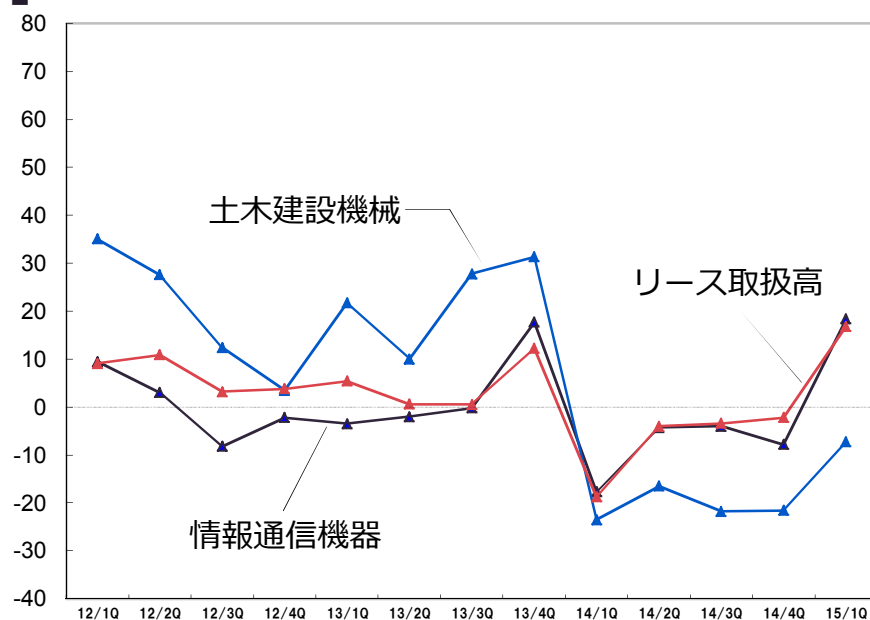
- ・ヘルスケア関連の不動産売却により増収。また、売上総利益についても前年同期比増加となるものの、与信コストの戻入の減少などにより、経常利益及び、四半期純利益については減益となる

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

2) 事業環境

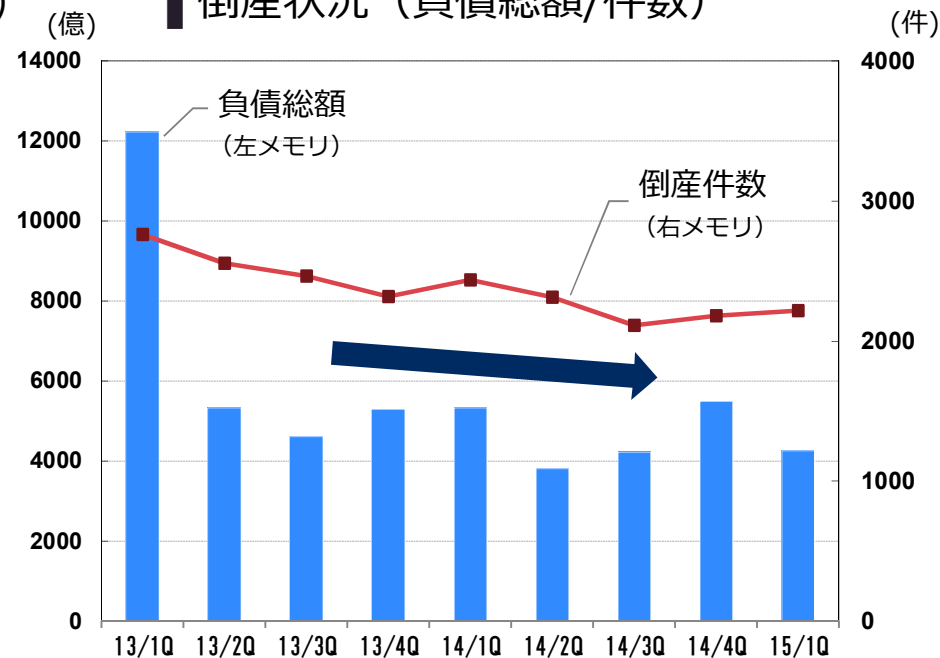
- リース取扱高：当社の主力である情報通信機器については前年同期比18.4%の増加
また、業界全体のリース取扱高についても前年同期比16.8%の増加
- 倒産状況：当第1四半期における負債総額は、2ヶ月連続の前年同期比減少
倒産件数についても3ヶ月連続の前年同期比減少

リース取扱高の足元の動向（前年同期比推移）



（社団法人リース事業協会：リース統計）

倒産状況（負債総額/件数）



（帝国データバンクHP：倒産集計より）

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

3) 業績概要（連結）

- ・ 売上高 : ヘルスケア関連の販売用不動産の売却があったことにより
前年同期比6.7%の増加
- ・ 経常利益 : 与信コストの戻入の減少や、為替評価損の計上により
前年同期比59.9%の減少
- ・ 自己資本比率 : 9.8% (13/6末) → 10.3% (14/6末) → 9.2% (15/6末)

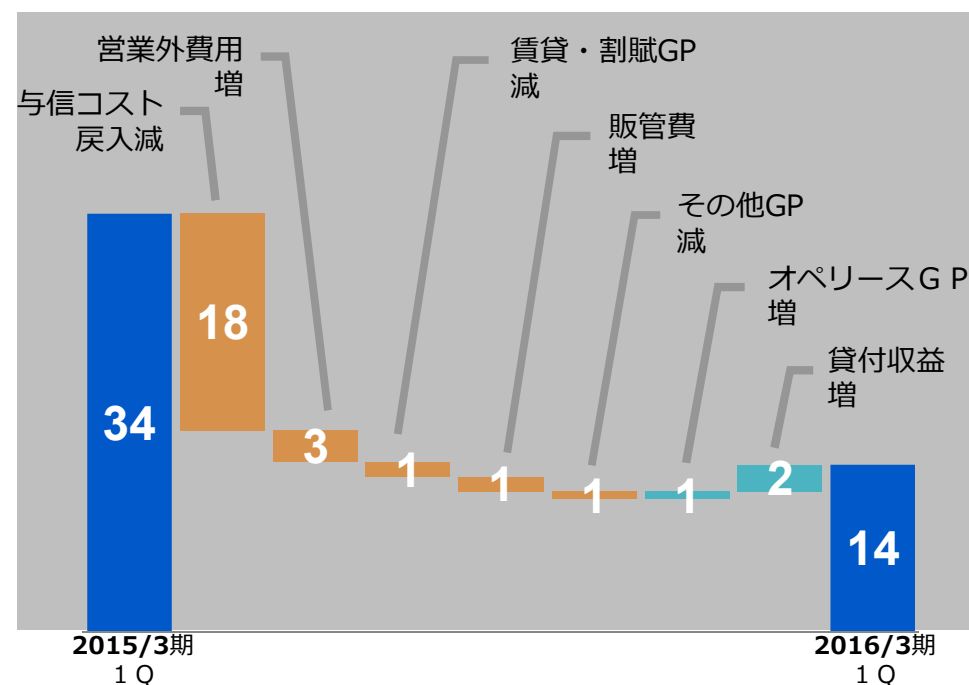
業績数値

(単位：億円)

	2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
売上高	477	509	6.7%
営業利益	33	15	▲53.6%
経常利益	34	14	▲59.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	21	7	▲65.4%
1株当たり四半期純利益	97円50銭	33円74銭	—
営業資産残高	6,293	7,330	16.5%
純資産	831	997	20.0%
自己資本	730	744	1.9%
自己資本比率 (%)	10.3	9.2	▲1.1
1株当たり配当金 (円)	22	22	—

経常利益前年同期比主要増減要因

(単位：億円)



1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

4) 事業別収益（連結）

事業別収益

（単位：億円）

		2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
貸貸・ 割賦事業	売上高	424	409	▲3.4%
	売上総利益	33	31	▲4.1%
	営業利益	25	14	▲43.8%
ファイナンス 事業	売上高	8	11	27.5%
	売上総利益	6	8	30.2%
	営業利益	10	4	▲58.4%
リサ 事業	売上高	17	22	29.6%
	売上総利益	11	9	▲20.6%
	営業利益	3	1	▲76.9%
その他の 事業	売上高	29	68	134.2%
	売上総利益	3	6	81.1%
	営業利益	▲1	0	-
計	売上高	477	509	6.7%
	売上総利益	53	54	2.1%
	営業利益	33	15	▲53.6%

※短信セグメント情報のうち、「調整額」を除いて表示

<<貸貸・割賦事業>>

- ・売上高は小口事業撤退の影響により前年同期比3.4%減。
営業利益については、与信コストの戻入の減少により前年同期比43.8%減

<<ファイナンス事業>>

- ・売上高は前年同期比27.5%増。
営業利益については、与信コストの戻入の減少により前年同期比58.4%減

<<リサ事業>>

- ・売上高は、販売用不動産の売却額の増加により、前年同期比29.6%増。
営業利益については、債権投資等の収益の減少により、前年同期比76.9%減

<<その他の事業>>

- ・売上高は、ヘルスケア関連の販売用不動産の売却により、前年同期比134.2%増。
営業利益については粗利の増加により、前年同期比1億円改善し、黒字となる

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

5) 事業別契約実行高の状況

事業別契約実行高

(単位：億円)

	2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
貸貸・割賦事業	226	310	36.9%
貸貸事業	219	287	31.2%
割賦販売	7	23	202.9%
ファイナンス事業	722	598	▲17.2%
営業貸付金	473	353	▲25.4%
一括ファクタリング	249	245	▲1.7%
その他の事業	5	10	102.7%
計	953	917	▲3.8%

事業別成約高

(単位：億円)

	2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
貸貸・割賦事業	293	424	44.6%
貸貸事業	292	412	41.2%
割賦販売	2	13	648.5%
ファイナンス事業	719	596	▲17.2%
営業貸付金	470	351	▲25.4%
一括ファクタリング	249	245	▲1.7%
その他の事業	5	9	77.2%
計	1,018	1,029	1.1%

《契約実行高》

- ・ 貸貸・割賦事業においては、前年同期比36.9%増となり、業界平均16.8%増を上回る進捗となった
- ・ ファイナンス事業については、前年同期に債権流動化の大型案件があったことにより17.2%減

《成約高》

- ・ 貸貸・割賦事業、ファイナンス事業共に、契約実行高と同様の展開

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

6) 賃貸・割賦事業の営業状況

業種別契約実行高

(単位：億円)

	2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
官公庁	108	127	17.4%
民需	118	183	54.7%
サービス業	34	57	67.6%
流通業	34	56	64.5%
製造業	17	45	158.2%
その他	33	25	▲24.4%
計	226	310	36.9%

業種別成約高

(単位：億円)

	2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
官公庁	203	264	30.1%
民需	90	160	77.6%
サービス業	20	51	148.4%
流通業	12	47	283.9%
製造業	28	23	▲18.2%
その他	29	39	33.2%
計	293	424	44.6%

(参考) 機種別賃貸事業契約実行高

(単位：億円)

	2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
情報通信機器	149	236	58.6%
電子計算機及び関連装置	76	116	52.6%
ソフトウェア	68	115	70.3%
通信機器及び関連装置	5	5	▲6.8%
事務用機器	14	12	▲14.3%
その他機器	64	62	▲2.6%
計	226	310	36.9%

- ・業種別の契約実行高は、官公庁・民需共に前年同期比増加
全体では、前年同期比36.9%増
- ・成約高についても、契約実行高と同様の展開
全体では、前年同期比44.6%増
- ・官公庁ライン・民需ラインそれぞれにおける、各種施策により、当1Qは順調に推移

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

7) ファイナンス事業の営業状況

契約形態別契約実行高

(単位：億円)

		2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
	立替・APF・割賦バック	16	29	87.9%
	個別ファクタリング	202	144	▲28.8%
	診療報酬債権流動化	1	—	—
	企業融資	244	152	▲37.9%
	その他	11	28	164.0%
	計	473	353	▲25.4%

業種別契約実行高

(単位：億円)

		2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年同期比
官公庁 民需		0	2	238.2%
		473	351	▲25.7%
	サービス業	11	25	121.0%
	流通業	10	15	53.3%
	製造業	222	124	▲44.0%
	金融業・保険業	76	46	▲40.2%
	不動産業	78	35	▲54.8%
	その他	76	106	40.5%
計		473	353	▲25.4%

- ・ 契約形態別の契約実行高については、前年同期に大口のあった個別ファクタリングで前年割れ、また企業融資も前年割れとなり、ファイナンス事業全体では前年同期比25.4%減少
- ・ 業種別では、サービス業及び流通業他で前年同期比増加となるものの、それ以外の業種で前年割れとなり、民需全体では25.7%減少
- ・ グローバル展開の中で、海外案件についても実績拡大に成果

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

8) リサ事業の営業状況（営業利益）

（単位：億円）

		2015/3期 1Q	2016/3期 1Q	前年 同期比
アセットビジネス	売上高	9	7	▲19.2%
	売上総利益	8	6	▲27.4%
	営業利益	5	3	▲38.5%
不動産	売上高	6	12	114.5%
	売上総利益	1	1	▲2.2%
	営業利益	0	0	-
アドバイザー	売上高	2	2	1.8%
	売上総利益	2	2	2.9%
	営業利益	1	0	▲36.9%
のれん他	売上高	▲0	▲0	-
	売上総利益	▲0	▲0	-
	営業利益	▲3	▲3	-
連結ベース 計	売上高	17	22	29.6%
	売上総利益	11	9	▲20.6%
	営業利益	3	1	▲76.9%

売上高は、不動産の売却により増収となるものの、連結ベースの営業利益は、債権投資事業における回収益の減少により、前年同期比減益となった

<<アセットビジネス>>

- ・債権投資事業における回収益の減少により、減収減益となっている

<<不動産>>

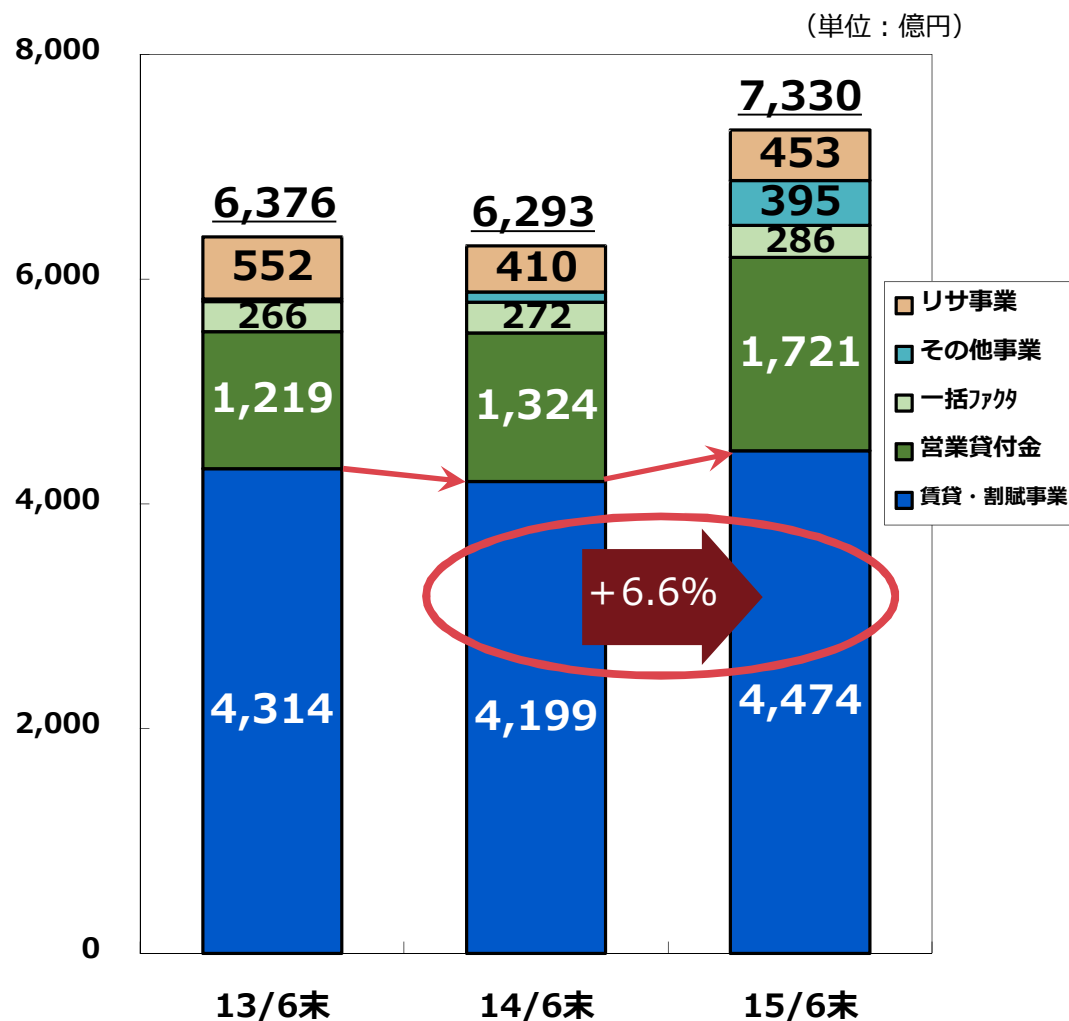
- ・販売用不動産の売却により増収

<<アドバイザー>>

- ・ほぼ前年並みの収益を確保

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

9) 営業資産残高の状況（連結）



<<営業資産残高>>

- ・ 貸貸・割賦事業の残高は、前年同期末比275億円（6.6%）の増加

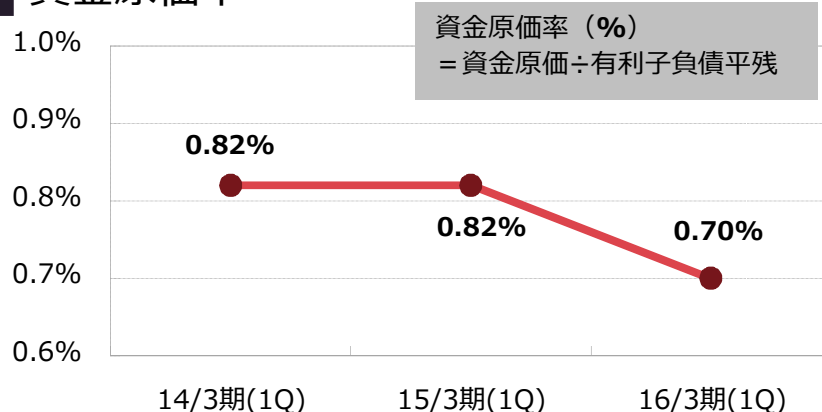
(億円)	14/6末	15/6末	前年増減
官公庁	2,496	2,602	106
民需	1,702	1,871	169
	4,199	4,474	275

- ・ 営業貸付金の残高は、前年同期末比397億円（30.0%）の増加
⇒グローバル事業展開に伴って外貨建融資等の残高が増加
また、製造業向けのファクタリングが増えたことにより、個別ファクタが97億円の増加
- ・ その他事業の残高は、前年同期末比307億円の増加
⇒ヘルスケア関連の販売用不動産が311億円増加（14/6末 71億円→15/6末 382億円）

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

10) 資金調達の状況（連結）

資金原価率

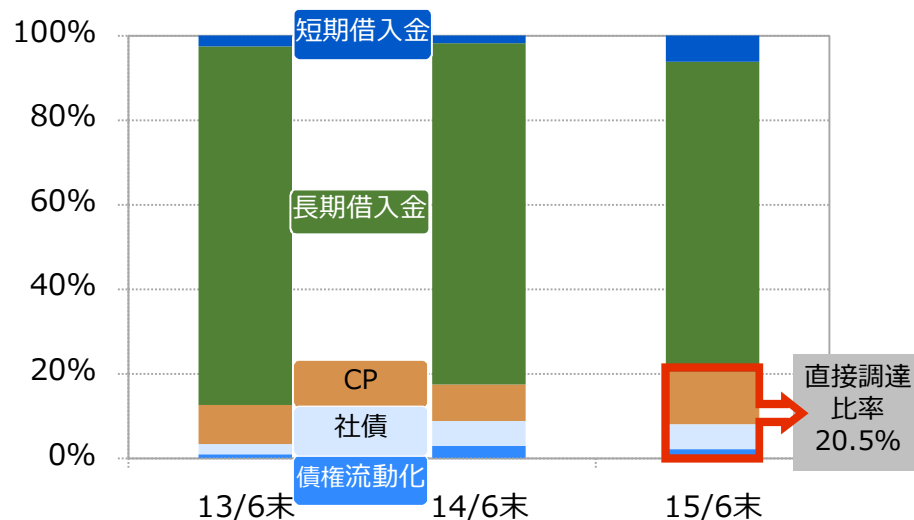


有利子負債残高

(単位：億円)

	2014/3期		2016/3期		増減
	1Q末	構成比	1Q末	構成比	
短期借入金	103	1.7%	409	6.1%	306
長期借入金	4,775	80.7%	4,922	73.4%	147
CP	510	8.6%	830	12.4%	320
社債	350	5.9%	400	6.0%	50
債権流動化	176	3.0%	148	2.2%	▲28
計	5,914	100.0%	6,709	100.0%	795

有利子負債構成比

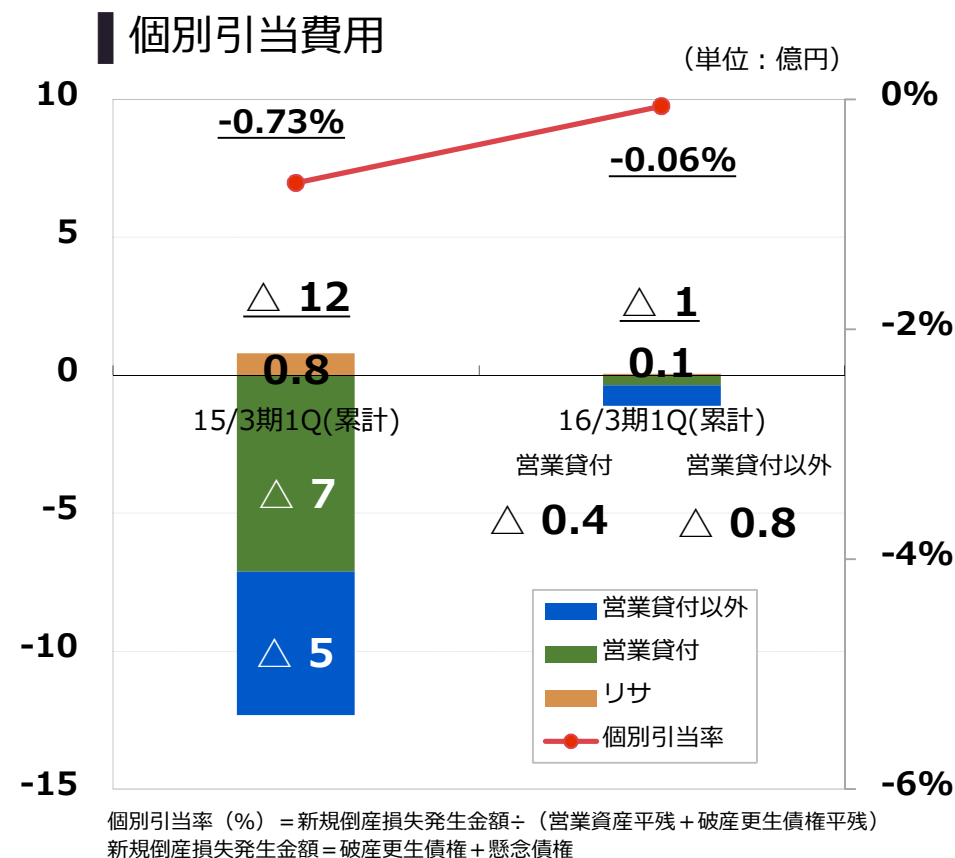
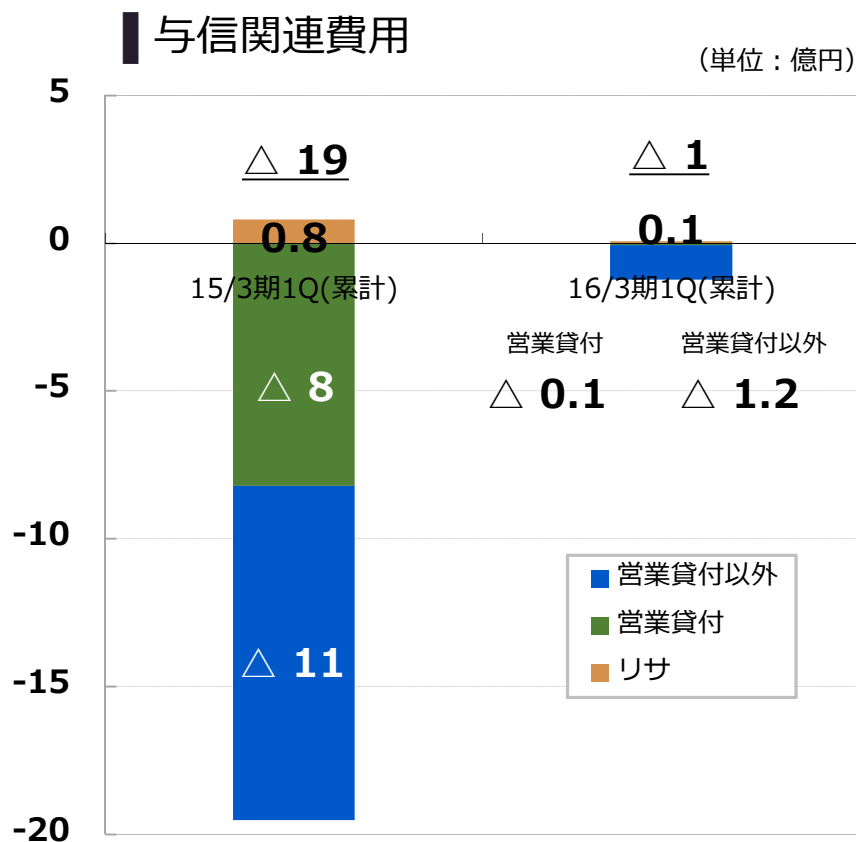


- ・ 連結後の資金原価率は0.70%
⇒有利子負債平残は増加したものの、長期借入のCPシフト、調達スプレッドの削減及び市場金利の低下により減少
- ・ 直接調達比率は上昇
(2014/6末 17.5% → 2015/6末 20.5%)
⇒C P 残高増加により上昇

1. 2016年3月期 第1四半期実績報告

11) 与信関連費用（連結）

- ・与信関連費用は、前年同期比18億円増加（内、一般7億円増加）
- ・個別引当費用は、貸倒引当金の戻入の減少等により、10億円増加



2. 2016年3月期計画

2. 2016年3月期計画

1) 連結業績予想

■ 連結業績予想

(単位：億円)

	実績	予想	
	2016/3期 第1四半期	2016/3期 第2四半期（累計）	2016/3期 通期
売上高	509	900	1,900
営業利益	15	25	55
経常利益	14	25	55
親会社株主に帰属する純利益	7	15	35
1株当たり純利益（円）	33円74銭	69円66銭	162円54銭

■ 1株当たり配当金

	第2四半期末	期末	年間
2016/3期予想	22円00銭	22円00銭	44円00銭
2015/3期実績	22円00銭	22円00銭	44円00銭

本資料に記載されている株主・投資家向け情報は、投資勧誘・保証を目的として作成されたものではありません。実際に投資を行う際は、ご利用者ご自身のご判断において行われるようお願い致します。

本資料に記載されている当社の計画、戦略および業績見通しは、将来の予測であって、リスクや不確定な要因を含んでおります。

また、本資料に記載されている経営目標は予想ではなく、将来の業績に関する経営陣の現在の予想を反映したものではありません。むしろ、経営陣が事業戦略の実行を通じて達成しようとする目標であります。

実際の業績等は、さまざまな要因により、見通し等と大きく異なる結果となりうることをあらかじめご承知願います。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因としては、当社の事業領域を取り巻く経済情勢及び規制や法令の変更、潜在的な法的責任、当社のサービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力などがありますが、これら以外にも様々な要因がありえます。また、世界経済の悪化、世界の金融情勢の悪化、国内外の株式市場の低迷などにより、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。

当社による将来予測に関する記述は、その日現在のものであることをご承知おきください。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、リスクや不確定要因があるため、将来予測に関して記述されていることが実際には起こらない場合もありえます。これらの記述に全面的に依拠することは控えるようお願いします。



NECキャピタルソリューショングループビジョン
お客様と共に、社会価値向上を目指して、
グローバルに挑戦するサービス・カンパニー

 **Orchestrating** a brighter world

NEC